

補正予算 SL機関車補修移設費 1309万円

否決

11月
臨時会

賛成少数で否決(賛成3・反対9・議長欠席)

賛成:堤・池邊・古庄 反対:川崎・安河内・吉田・大熊・助村・丸山・牛房・大西・末藤

11月1日1日間で開かれました。議案は補正予算の1件です。

(提案説明)

中の坪公園の改修工事のため国鉄SL機関車を補修し商工会前の鉄道公園に移設。(移設費367万円、補修費711万円、整備費101万円、信号機等移設費130万円)

補正予算説明に 質問続出

Q、なぜそういう思いが突然出てきたのか。

A、私の代になって、今まさにその時。

Q、追加工事は。

A、保存していくについては何年か置きに塗装・整備、屋根をかぶせる。

Q、移動した後の活用利用の展開、計画は。

A、学習的な効果も十分ある。

Q、ボタ山と豎坑と機関車が一体となって価値があるが。

A、付加価値の高い物を選択。



大正8年に製造された機関車 D96-29612

Q、ほったらかしを反省し、駐車場は閉めたままなのか。

A、開放によつて別の問題が生じる。

Q、勝田線で石炭・人を運んだ機関車か。

A、走っていた機関車ではない。

Q、交通渋滞が激しい所だが。

A、安全対策は十分施す。

Q、メンテナンスとか塗装は。

A、昭和50年に設置され、平成14年に1回。

賛成討論

古庄議員

40年近く保育園児や小学生に愛され、親しまれたSL機関車を残すことは、個性あるまちづくりである。

町の歴史を物語る史跡や文化財、それを生かして商工の活性化、地域の活性化に取り組みと要請がなされた。

郷土愛を育む教育面からも将来のまちづくりの数少ない貴重な財産として残すことが責任である。

堤議員

機関車が設置されている町内では、一機関車を残してください。壊してしまつてはもつたない残して活用の方法を考えて下さい」と熱い思いで語られる。

立坑橋、ボタ山、鉄道公園3点セットで町のシンボルにしたいと町長の思いに賛成。

樹木を大切に、無闇に切り倒すことがないようにすべき。

反対討論

大西議員

鉄道公園に機関車を置いて見学者が来るのか、どれだけの人が喜ぶのか、ここは須恵インターの影響で交通量が一番多くなっている。

子ども達を危険にさらすようなものだ。

公園全体を柵で囲むのか、多くの付帯設備が必要になってくる。

存在する以上将来的に維持管理費は相当な金額になる。

計画不足の議案に血税は使えない。

助村議員

1300万円を使って中の坪公園の機関車を移設、補修を行うという事だが、これまで議会の中で語られていない。

唐突に今回提案され不信任感を抱く。

機関車が重要と思うなら、ポロポロに腐食したかわいそうな姿にはなっていない。

多額の費用をかけて移設を行なうことは反対。